

職場風土の変革を目指したチームステップスの導入～改革への8ステップ～

大西 一彦¹⁾ 上野 博子²⁾ 若田 きみ子³⁾
林 将希⁴⁾ 宮部 将幸¹⁾ 後藤 泰代³⁾
西尾 優³⁾

- 1) 高山赤十字病院 医療安全推進課
- 2) 高山赤十字病院 看護部
- 3) 高山赤十字病院 医療安全推進室
- 4) 高山赤十字病院 医事課

【はじめに】

ヒューマンエラー対策から取り組み始めたチームステップス活動も4年目を迎える。チームステップスの4つのコアスキルを学ぶにつれ、その奥深さを知ることとなり直接的な治療の場面のみならず、広い意味での職場風土の変革に繋がられる活動であることに気づかされた。当院では、チームステップス活動を医療安全の枠を超え、職場の変革をもたらす活動と捉え、職場風土の変革を伴う事がヒューマンエラー防止に大きく寄与すると考えるに至った。

【取り組み】

SBAR、CUS、2チャレンジルールなど、単体職種を中心に、少しでも早くチームステップスのツールを実際の業務に取り入れたいとする声も多く聞かれたが、“ペンギンのお告げ”に準じ、“改革を成功させる8ステップ”を確認しながら、又、チームステップスの頭文字にもあるように、“戦略”をもって導入しないことによる副作用を意識し、安全文化醸成には時間と根気が必要であるとの結論に至った。全職員の取り組みを成功させるためのフェーズアプローチ（事前評価、計画・実践、安全文化の醸成）の視点と、改革を成功させる8ステップを組み合せながら「高山赤十字病院版チームステップス活動」の実現に向け動き始めている。

【今後の課題】

全職員の活動としての取り組みと推進には大きな壁が立ちただかる。なによりも病院上層部の将来を俯瞰した多角的な視点と深い理解、推進役であるチームメンバーの組織化と情熱が活動を支えている。今回は、これまでの活動の軌跡と現在までの進捗、今後の課題、安全文化醸成への長い道のりについて報告する。